

基礎情報

No. 72	名称 しょうねんごきょうたいのひ
不明	少年護郷隊之碑

建立年月日 1956(昭和31)年8月	改修・移設等歴 —
------------------------	--------------

所在地番 名護市大西2-1478-1	座標 26.59327611	127.98212278	地目 原野	地積 (㎡) 2,642.00
-----------------------	-------------------	--------------	----------	--------------------

規模(幅M×奥行D×高Hcm)  
 [主碑]全体:305\*207\*258、碑身:136\*62\*193/[由来記碑]全体:279\*131\*157、碑身:172\*115\*122

素材  
 【主碑】碑身:御影石ビシャン仕上、台座:洗玉石練積み+隅石御影石/【由来記碑】碑身・台座:鉄筋コンクリート造細粒黒白御影砕砂利洗出し仕上+正面貼付け[由来記板:黒御影石磨き仕上、枠:緑御影石磨き仕上]+正面右側貼付け[由来記板:プラスチック]

建立者 元大本営直轄第一護郷隊隊長	管理者 不明
----------------------	-----------

碑文等

【主碑】  
 <前面>少年護郷隊之碑  
 <後面>赤き心て断してなせは/骨も碎けよ肉また散れよ/君に捧けてはゝえむ男児/村上治夫謹書

【由来記碑】  
 <前面>少年護郷隊沿革史/太平洋戦争の末期戦況の緊迫に伴い沖縄島が皇土防衛の第一線となるや昭和十九年十月十五日勅令に基き第三遊撃隊通称護郷隊を編成す。隊員は国頭郡に在住せる一七一八才の第二国民兵を防衛召集に依り充当し名護国民学校にて遊撃戦遂行に必要な戦技を附与する如く訓練す 昭和二十年一月、軍命令に基づき戦闘配備を整えと共に第二、第三次に召集せる隊員の教育を謝花校羽地校にて実施し戦力を強化せり昭和二十年三月二十三日甲号戦備下令され本部(屋我地島及各村出身者)を多野岳に第一中隊(名護町恩納村今帰仁村出身者)を名護岳に第二中隊(羽地今帰仁村出身者)を多野岳に第三中隊(久志村本部町出身者)を国頭支隊に配属し三〇二高地に第四中隊(金武村本部町出身者)を久志岳に配備し至巖なる警戒裏に戦備を完成す 四月一日敵は本島に上陸四月七日名護湾に上陸するや第三中隊は乙羽岳及真部山にて国頭支隊と共に第一戦の戦闘に各隊は夫々戦闘地域に侵入せる敵に対し果敢なる挺身遊撃戦を展開し軍主力の作戦に呼応せり 四月下旬多野岳等の基地を欠陥せるも屈せず神出鬼没或は夜間爆薬を抱いて敵陣深く侵入し或は白昼堂々と特殊秘密兵器を以て攻撃し敵の心胆を寒からしめ以て遊撃戦の本領を遺憾なく発揮せり 六月下旬以降南部地区の軍主力玉砕後に於ても真に護郷隊の特色を發揮し変幻自在なる秘密遊撃戦を遂行中八月十五日終戦の詔勅を受け部隊を解散す/戦没者氏名/[略]

<前面右部>少年護郷隊之碑建立縁起/昭和十九年十月 当時、一七、八才だった少年が防衛召集令により消息され護郷隊を編成し此所名護小学校に誕生した。/猛訓練の末山原各地を転戦し郷土防衛の大任を果たし散華された英霊を慰霊顯彰せんと搖籃の地に碑を建立するのが最も適地であると元隊員の総意に基いて、発祥の地名護小学校に建立了。/大本営直轄第一護郷隊隊長/村上治夫/昭和三十二年 竣工七月

写真

